

Callenge Mt.Ainodake

7/30(土) 曇り時々晴れ

メンバー：宮崎 (CL 会員外)、友澤 (会員外)、江橋

コースタイム：広河原 6:18⇒八本歯のコル 10:12⇒北岳山頂 11:30⇒小太郎尾根分岐 12:42
⇒白根御池小屋 13:54⇒広河原 15:15

我々は、『Callenge Mt.Ainodake』と題し広河原から日帰りで間ノ岳をピストンする Callenge 企画に挑戦することになった。実はこの企画は私の職場仲間では今回 4 回目の Callenge で未だ達成されていない。私は 3 年前に続き 2 回目の参戦、M 崎は 3 回目、T 澤は初参戦だ。3 年前は、強風と霧により北岳山荘前で断念することになった。

午前 0 時佐倉の自宅を出発。市内で M 崎を、国道 464 を経由し松戸で T 澤を拾い四ツ木 IC から中央道甲府昭和 IC へ。中央道ではなぜかほとんどの車が 100km/h 以下で走行しており安全運転？私は、110km/h～120km/h の安全運転で無事一般道へ。コンビニで買物の後芦安の駐車場に着いたのは 3:40 ごろ。タクシー乗り場近くの駐車場は既に満車。少し離れた駐車場へ車を止めタクシー乗り場へ行ってみると既に満員でバスで行くよりないようだ。過去の記録を見てみるとタクシーに乗るためにはもう 1 時間早く行かなくてははいけなかったらしい。。。

トイレも渋滞、仮設トイレは男女各 2 つしかなく大小兼用。女子トイレは空いている。勇気のある 2 人のおじさんが、女子トイレにトライしたが、ひとりが出た時にちょうど女性が待っており、目を丸くしていた。。。

先にバス乗り場に並んでいた M 崎と T 澤はバス乗り場のトイレに行ったらしくこちらは空いていたようだ。

バスは 4～5 台用意され我々は幸い座ることができた。6:18 広河原着。タクシーに乗れずまず 20 分ほどのロスとなった。

気を取り直して緑の吊橋を渡り出発。大樺沢左俣コースで 9:30 に八本歯のコルに到達できるかどうかで間ノ岳に行くか北岳に行くかを決めようということで、初参戦の T 澤が先頭でスタート。若い為か気合の入り過ぎか早くて付いていくのがやっとな。しばらくして M 崎が「沢沿いに向かうはずだけどな・・・」などと言い出す。同じ方向に向かっている人に聞いてみると早くも分岐を間違えたらしいことがわかった。白根御池小屋分岐を御池小屋方面へ来てしまったようだ。このまま行くとコースタイムで 35 分のロスとなる。分岐からまだそれほど進んでいないと判断し我々は今来た道に戻ることにした。しばらく戻ると確かに分岐の看板が。私は T 澤に付いて行くのに必死でこの看板にはまったく気づかなかった。。。これでまた 20 分ほどのロス。先ほどのハイペースで私の足は早くもダメージを受けていた。

陽が出ると暑い、沢沿いに出ると風が涼しい。この大樺沢コースは斜度がかなりきつい。

水平距離 5km ほどに対し 1700m の高低差、平均斜度は 100m あたり 34m。正に直登コースだ。しばらくすると M 崎が「目が痛くて空かない」と言い出す。しばらく待っていたが回復しないらしく、「少し先に行っていてほしい」というので、T 澤とふたりでゆっくり進むことにした。しかし、なかなか追いついてこない。M 崎がいる位置も見えなくなっている。休憩しながら待っていると下りてきた 60 代のご夫婦らしきおふたりが「八本歯のコルは楽しかった」と教えてくれる。しかし、コルまではまだかなりありそうだ。

M 崎がやっと追いついてきた。陽が隠れるとまだ具合はいいらしい。

大樺沢二股を過ぎると残雪が現れた。涼しい風が吹いてくる。気持ちいい。このあたりは多くの登山者がいて少し渋滞気味だ。我々は少し脇道に入り人込みを避けて進んだ。

いよいよ八本歯のコル手前の梯子&ガレ場地帯に到着。確かに楽しい(?)たくさんの梯子とたくさんのガレ場。斜度が更にきつい。しんどい！足が攣りそうになり後ろの人に道を譲ったが、その人も同じく足が攣りそうだという。私はアミノ酸を補給ししばらくすると少し楽になった。先ほどの人を追い抜き前方にいる二人を追う。ついに八本歯のコル到着。しかし時間はすでに 10:12。予定の 9:30 を 40 分過ぎている。M 崎の調子もいまひとつの為、間ノ岳を諦め北岳に向かうことになった。少し休んで出発。まだガレ場は終わっていなかった。

11:30 北岳山頂到着。東側はガスでまったく見えない。西側は中白峰沢ノ頭か？近くの山が見えるだけだ。今回も北岳は私に良い景色を見せてくれなかった。また来いということか？

12:00 まで昼食休憩をとり下山。草すべりコースの標準タイムでは広河原まで 4 時間 20 分最終バスは 16:40 あまり余裕は無い。

こちらは、大樺沢コースよりもガレ場が少なく傾斜も少なく歩きやすい。小走りに下る。

と思ったのは最初だけで傾斜はそれなりに大きかった。高度差は同じなので当然だ。

白根御池とキャンプ場が見えた。14 時前白根御池小屋到着。ソフトクリーム休憩。T 澤は生ビールを注文した。1 口もらい「うまい！」体に染み渡る。14:30 出発。広河原までの標準コースタイムは、1 時間 50 分。結構ギリギリだ。



途中からひざが痛くなり何とか下っている状態となってしまった。広河原まで20分の看板。時計を見ると16:00 結構ヤバイ！ひざは痛いが最後の力を振り絞り小走りに進む。来る時に渡った小さな橋を渡り、ついに吊橋到着。ここも小走りにバス乗り場へ急ぐ。ゴール。時計を見るとなんと15:15。さっきは1時間見間違えていたようだ。よかった。タクシー乗り場には先客が。ちょうどタクシーが来た。我々3人でちょうど満席の9人15:30にタクシーに乗ることができた。このタクシーの運転手さんは今日6往復目だという。ひとり1200円なので結構儲かるだろうと思った。タクシーは広河原の我々が停めた駐車場まで送ってくれた。疲れた体には本当に助かった。旅館の温泉で日帰り入浴したが泊まっていきたい衝動に耐え食事後、甲府昭和ICより帰途につく。帰りも中央道は安全運転の車が多い。中央道大月-八王子間は今回も13kmの渋滞。松戸経由で自宅に着いたのは23:00ごろ。本当に疲れた1日だった。前回の槍ヶ岳往復より疲れた気がする。

今回も間ノ岳踏破は叶わなかったが、コツはわかった。①朝1番のタクシーに乗ること
②道は間違わないこと ③体調の良いときにいくこと ④無理して早く歩かないこと
これができるればきっと日帰り踏破は達成できる。
でも、景色や花をゆっくり見ながら登るほうが楽しい気がする。

帰りの車窓から大きな富士山の貫禄ある姿を見ることができた。

以 上